



生き生きとしたお年寄りの顔

駿河荘まつり

「ワツシヨイ、ワツシヨイ」と、威勢のいいかけ声に合わせ、みこしが練り歩く。元氣よく担ぐのは、老人ホーム駿河荘のお年寄り。キリリと締められた鉢巻きに、はつぴをまとつたいきな姿。みこしは、材料から自分たちで仕入れた手づくりのもの。毎年行われるこの駿河荘まつり。ことは八月六日に開催。テーマは「入所者主体の地域に根ざした施設づくりを」。お年寄りが歌うカラオケ、地域の人を交えた踊りや、リズム保育園のマーチングバンド、富士見台太鼓の演奏が、祭りを盛り上げます。会場には、地域の住民、団体、ボランティアなどによる十二の模擬店が立ち並び、地域の住民約六百人が集合。生き生きとしたお年寄りの顔と、それを取り囲む地域の和が、これからの高齢化社会を支えていきます。

- 2～5 特集●富士市高齢者保健福祉計画
安心して暮らせる
長寿社会を目指して
- 6 7月のできごと
- 7 オーシャンサイド ナウ
- 8～11 暮らしのたより
- 12 9月のカレンダー

